



プロの総合格闘家への指導（右端）



仕事中のプレゼンテーション場面

特

二瓶 卓郎さん

那須烏山市
ARAKEN 株式会社荒川建設

◆仕事内容／営業

After Work 建設業で働く

建設業で働く4名の方のプラ

ライフワークの充実

—現在の活動を始めたきっかけや動機はどのようなことでしたか。

親が泣き虫だった私を見かねて、強制的に5歳から空手を始めました。

20代の時には10年間、日本代表選手として活動し、世界大会で銅メダル2回の実績があります。

その空手道競技の中で培った経験を活かしたいと思い、また空手指導者であった父のように、後進の育成に貢献したいと思ったため空手道場を始めました。

—現在の活動はいつからですか。

「空手を習いたい」と知人から言われたことが良いきっかけとなり、もともと興味があったことから5年前より空手道スポーツ少年団を結成しスタートしました。主に幼児～中学生を指導しています。

また、SNS等でその他のコンタクトスポーツ（総合格闘技、キックボクシング等）のプロ格闘家から指導依頼を多数いただき、休日を利用して指導しています。

—活動は週に何回されていますか。

週に4回は空手道場の活動をし、休日にプロ総合格闘家の指導をしています。

—活動する中で感じるおもしろい部分、反対に苦勞を感じているのはどのようなことですか。

おもしろい部分としては、選手の成長を間近で見るこ



空手道の指導

とができること。空手道競技を通して高校や大学進学といった人生のターニングポイントにおいて、スポーツ進学等で選択肢としてサポートできること。また、プロ格闘家の活躍に陰ながら貢献できることです。

苦勞している部分に関しては、一人ひとりの性格や特性に合わせてアプローチの手段を考えることです。

—仕事とプライベートを両立するコツを教えてください。

仕事にもプライベートにも力を入れ、100%全力投球することを心掛けています。

—今後の夢や目標を教えてください。

指導している選手が活躍できるようになること、私が行っている活動に関わる人が満足し、「やって良かった」と言ってもらえるように活動していくことです。

—次世代を担う若者たちへメッセージをお願いします。

時間は有限であるため、やれるときにやりたいことをやる。チャレンジできるときにチャレンジしてください。